

●人材育成に関するアンケート集計結果

回答期間	2023年8月21日～9月10日
回答対象	【高齢者施設】 生活相談員、介護支援専門員、機能訓練指導員、介護職員(現職場で3年以上勤務している方) 【障害者(児)施設】 サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者、職業指導員・就労支援員、生活支援員(現職場で3年以上勤務している方)
回答方法	WEB回答(兵庫県電子申請共同運営システム)

1. アンケート回答者属性

(1)回答者数

高齢者施設	20代	男性	6人	7人	82人
		女性	1人		
	30代	男性	10人	16人	
		女性	6人		
	40代	男性	10人	21人	
		女性	11人		
	50代	男性	6人	32人	
女性		26人			
60代以上	男性	2人	6人		
	女性	4人			
障害者(児)施設	20代	男性	5人	15人	99人
		女性	10人		
	30代	男性	12人	23人	
		女性	11人		
	40代	男性	6人	21人	
		女性	15人		
	50代	男性	5人	19人	
		女性	14人		
60代以上	男性	8人	21人		
	女性	13人			
合計					181人

(2)性別

男性	20代	11人	70人
	30代	22人	
	40代	16人	
	50代	11人	
	60代以上	10人	
女性	20代	11人	111人
	30代	17人	
	40代	26人	
	50代	40人	
	60代以上	17人	

(3)年齢

20代	22人
30代	39人
40代	42人
50代	51人
60代以上	27人

(4)施設種別・職種詳細

①高齢者施設

【施設種別】

訪問系事業所	14人
通所系事業所	7人
介護老人福祉施設	33人
地域密着型介護老人福祉施設	0人
介護老人保健施設	13人
サービス付き高齢者向け住宅	1人
有料老人ホーム	1人
認知症対応型共同生活介護	3人
短期入所生活介護	0人
小規模多機能型居宅介護	3人
看護小規模多機能型居宅介護	0人
その他(居宅介護支援)	7人

【職種】

生活相談員	7人
介護支援専門員	18人
介護職員	44人
機能訓練指導員	3人
その他(事務職、管理者、看護師)	10人

②障害者(児)施設

【施設種別】

居宅介護支援事業所	0人
居宅介護(ホームヘルプ)	1人
重度訪問介護	0人
療養介護	1人
短期入所(ショートステイ)	3人
就労移行支援	0人
就労継続支援 A 型	18人
就労継続支援 B 型	22人
共同生活援助(グループホーム)	7人
障害児相談支援	2人
児童発達支援	7人
医療型児童発達支援	0人
放課後等デイサービス	5人
居宅訪問型児童発達支援	0人
保育所等訪問支援	0人
福祉型障害児入所施設	3人
医療型障害児入所施設	0人
生活介護	18人
入所施設	6人
その他(障害者支援施設、自立訓練)	6人

【職種】

サービス管理責任者	14人
児童発達支援管理責任者	10人
職業指導員・就労支援員	12人
生活支援員	49人
その他(相談支援専門員、機能訓練指導員、看護師など)	14人

(5)勤務年数

3年未満	13人
3年以上5年未満	38人
5年以上10年未満	62人
10年以上	68人

2. アンケート回答項目

(1)なぜ今の仕事を選びましたか？※複数回答

【施設種別別】

	高齢者	障害者(児)	全体
1. もともと福祉職場への就職を希望していた	23人	26人	49人
2. 以前も福祉職場で働いていたから	29人	25人	54人
3. 働いている人や知人に勧められて	12人	29人	41人
4. 自宅から近かったから	12人	7人	19人
5. 求人を見て興味を持った	9人	11人	20人
6. 成長する業界だと考えたから	10人	5人	15人
7. 勤務条件・待遇が良かったから	5人	6人	11人
その他	15人	13人	28人

【男女別】 ※男女差が5%以上ある項目に色付け

	男性		女性	
1. もともと福祉職場への就職を希望していた	21人	24%	28人	19%
2. 以前も福祉職場で働いていたから	17人	20%	37人	25%
3. 働いている人や知人に勧められて	10人	12%	31人	21%
4. 自宅から近かったから	6人	7%	13人	9%
5. 求人を見て興味を持った	10人	12%	10人	7%
6. 成長する業界だと考えたから	6人	7%	9人	6%
7. 勤務条件・待遇が良かったから	4人	5%	7人	5%
その他	12人	14%	16人	11%

【その他の意見】

—— 高齢者施設 ——

- 資格を活かしたかったから
- 自分の両親の介護の際に役に立つと考えて
- 他に働くところがなかった
- 親が介護士だったから など

——障害者(児)施設——

- 社会貢献のため起業したかったから
- 自分の子どもに障害があり放課後デイサービスを利用していたことがきっかけに
- 実習をきっかけに興味を持ったから
- もともと利用者だったが、職業指導員になりたいと思って など

(2)今の仕事を人に薦めたいですか？

【施設種別別】

	高齢者	障害者(児)	全体
1. 強く薦めたい	3人	3人	6人
2. 薦めたい	14人	28人	42人
3. どちらともいえない	45人	55人	100人
4. 薦めたくない	15人	10人	25人
5. 全く薦めたくない	5人	3人	8人

【職種別】

	高齢者施設				障害者(児)施設			
	介護職員		その他		生活支援員		その他	
1・2	10人	23%	7人	18%	5人	10%	26人	52%
3	23人	52%	22人	58%	34人	69%	21人	42%
4・5	11人	25%	9人	24%	10人	21%	3人	6%

【年齢別】

	20代	30代	40代	50代	60代以上
1・2	3人	9人	10人	15人	11人
3	15人	21人	23人	27人	14人
4・5	4人	9人	9人	9人	2人

【勤務年数別】

	5年未満	5年以上10年未満	10年以上
1・2	15人	18人	15人
3	30人	31人	39人
4・5	6人	13人	14人

——高齢者施設——

【薦めたい(1~2)主な理由】	【薦めたくない(5~4)主な理由】
<ul style="list-style-type: none"> ● 処遇改善手当が多くて、昔みたいな安月給ではないから ● 高齢化率が高くなり続けることによる事業将来性は強いから ● 訪問介護は在宅で暮らす高齢者にとって必要だから ● 人の役に立てる、人の人生に関わりを持てるから など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃金が安いから ● 仕事量、責任の重さの割に賃金が少ない。精神的負担が大きい ● 多職種での話し合いの場が少なく、共同作業が出来ていない ● 休みの取りにくさ、慢性的な人員不足 ● ケアマネジャーは雑用が多すぎる ● 定時で業務が終わらないため など

——障害者(児)施設——

【薦めたい(1~2)主な理由】	【薦めたくない(5~4)主な理由】
<ul style="list-style-type: none"> ● やりがいがある ● 一人でも多くの方に一般就労で活躍して頂くため ● 学べることが多くあるので ● 時代の変化を感じることができ、新しいことにチャレンジできる ● 働きやすく、精神的なストレスが少ないから ● 楽しいから など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務に見合った給料ではない ● 実績が評価されない ● 現場の人手少なく、やることが多い ● やりがいはあるが、責任が重い ● 重度の方の対応は身体的にも精神的な摩耗が大きい ● 人員不足が否めず、休暇申請等が通りづらく融通が利きづらい ● 向き不向きがはっきりしている など

(3)今の仕事の魅力は何ですか？※複数回答

【施設種別別】

	高齢者	障害者(児)	全体
1. 人に感謝される	30人	29人	59人
2. 信念を持って仕事ができる	15人	15人	30人
3. 人の役に立っている実感がある	38人	40人	78人
4. やりがい大きい	29人	39人	68人
5. 自分自身が成長できる	22人	42人	64人
6. 自分のペースで仕事ができる	4人	10人	14人
7. 休みが取りやすい	10人	17人	27人
8. 給与が高い	5人	0人	5人
9. 特にない	14人	6人	20人
その他(人間関係がいい、楽しい など)	1人	4人	5人

【男女別】

	男性		女性	
	人数	割合	人数	割合
1. 人に感謝される	29人	20%	30人	13%
2. 信念を持って仕事ができる	9人	6%	21人	9%
3. 人の役に立っている実感がある	34人	24%	44人	19%
4. やりがいが大きい	22人	15%	46人	20%
5. 自分自身が成長できる	21人	15%	43人	19%
6. 自分のペースで仕事ができる	4人	3%	10人	4%
7. 休みが取りやすい	11人	8%	16人	7%
8. 給与が高い	3人	2%	2人	1%
9. 特にない	8人	6%	12人	5%
その他(人間関係がいい、楽しい など)	2人	1%	3人	1%

【年代別】

	20代	30代	40代	50代	60代-
1. 人に感謝される	12人	15人	12人	14人	6人
2. 信念を持って仕事ができる	1人	5人	10人	10人	4人
3. 人の役に立っている実感がある	8人	16人	21人	22人	11人
4. やりがいが大きい	2人	17人	17人	21人	11人
5. 自分自身が成長できる	5人	12人	15人	21人	11人
6. 自分のペースで仕事ができる	4人	3人	1人	4人	2人
7. 休みが取りやすい	5人	11人	5人	4人	2人
8. 給与が高い	0人	3人	1人	0人	1人
9. 特にない	2人	4人	4人	9人	1人
その他(人間関係がいい、楽しい など)	1人	2人	1人	1人	0人

(4)今の職場で仕事を続けたいと思いますか？

	高齢者	障害者(児)	全体
1. はい	37人	49人	86人
2. いいえ	8人	5人	13人
3. どちらともいえない	37人	45人	82人

——高齢者施設——

【続けたい主な理由】	【続けたくない主な理由】
<ul style="list-style-type: none"> ● これからも給料が上がり続けるため ● 休みが取りやすいから 	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃金が安いから ● 理不尽な事が多すぎるため

<ul style="list-style-type: none"> ● 福利厚生がしっかりしている ● 様々なプランを考えることができる等やりがいがある(小規模多機能型) ● 人間関係が良く、仕事がしやすい ● 高齢者との関りが好きだから ● 専門職として、もう少し深めたい ● やりがいがある など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 休憩時間まともにも取れないほど忙しい ● 本気で相談できる方がいないため ● 肉体的疲労、精神的苦痛 ● CM 自体が生産性のない業種なので、肩身が狭い ● 制度の複雑さや人材の問題 ● 介護士の職業病の腰痛が辛い など
---	---

——障害者(児)施設——

【続けたい主な理由】	【続けたくない主な理由】
<ul style="list-style-type: none"> ● 職場環境が良いので ● 子供たちの成長を見届けたい ● やりがいを感じる ● 利用者さんの支援を途中で投げ出す事は出来ない ● 家庭との両立が可能なため など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援方針などで法人代表と意見が分かれた際に、意見の相違＝代表への反発と取られてしまうため ● 福祉の仕事も好きだが、低賃金であることに不安と不満がある ● 書類の作成や自宅訪問等の業務に時間を取られ、ケースワークが十分にできない ● 家庭、子育てとの両立が難しい。制度をもう少し時代に合わせてほしい ● 夜勤業務が多く、長時間労働なので体力的にキツイところがある など

(5)人材の確保や定着のために、行政から補助や支援が受けられるのであれば、どのような施策が効果的だと思いますか？

【施設種別別】

	高齢者	障害者(児)	全体
1. 資格取得に係る研修費用の助成	52人	38人	90人
2. 奨学金返済支援	9人	21人	30人
3. 市主催の合同就職説明会の開催	0人	7人	7人
4. 就職希望者と事業所とのマッチング事業	12人	24人	36人
5. 研修等代替職員の人件費に対する補助	9人	20人	29人
6. 研修講師の事業所への派遣事業	6人	14人	20人
7. 採用時の給付金の給付	51人	64人	115人
8. 家賃補助	5人	13人	18人
9. 業界のイメージアップについて市から発信	12人	17人	29人

10. 同じ職種同士での座談会の実施	10人	11人	21人
11. ロボット、ICT機器導入に係る補助	26人	10人	36人
その他	12人	8人	20人

【男女別】

	男性		女性	
	人数	割合	人数	割合
1. 資格取得に係る研修費用の助成	41人	29%	49人	26%
2. 奨学金返済支援	12人	9%	18人	9%
3. 市主催の合同就職説明会の開催	1人	1%	6人	3%
4. 就職希望者と事業所とのマッチング事業	14人	10%	22人	11%
5. 研修等代替職員の人件費に対する補助	12人	9%	17人	9%
6. 研修講師の事業所への派遣事業	10人	7%	10人	5%
7. 採用時の給付金の給付	45人	32%	70人	36%
8. 家賃補助	9人	6%	9人	5%
9. 業界のイメージアップについて市から発信	14人	10%	15人	8%
10. 同じ職種同士での座談会の実施	9人	6%	12人	6%
11. ロボット、ICT機器導入に係る補助	16人	12%	20人	10%
その他	9人	6%	11人	6%

【その他の意見】

——高齢者施設——

- 根本的に人材が定着する給与水準や待遇改善が必要
- 福祉の人材確保の施策に介護支援専門員も加えてほしい。何故、ケアマネには処遇改善加算がもらえないのか不思議に思う
- 人材確保の為に紹介センターにかかる費用の助成が必要
- 看護師の待遇改善
- 介護支援専門員のおよび主任介護支援専門員の資格更新に係わる研修負担(費用面、精神的)がとても大きい
- 業務内容(範囲)の明確化と、事務書類作成等の簡素化
- 就職希望の生徒が多い高校などで、介護職の魅力を発信するような場を作る
- 処遇改善手当の義務化 など

——障害者(児)施設——

- 無資格の方も働けて経験を積みながら勉強できないと、人材確保は無理だと考える
- 事業所が積極的に加配できるような補助等があれば
- 法人内にカウンセラーを配置する場合は補助金が出る施策
- 管理者に対して休みが取りやすい環境整備についての助言、アドバイス

- パートタイマーの時給に対し、市が一部を助成する など

(6)資格取得助成について、現行制度にない資格で、補助を希望する資格はありますか？

- サービス管理責任者研修、相談援助従事者研修
- 強度行動障害支援者養成研修
- 医療的ケア児等支援者養成研修
- 知的障害者福祉司
- 移動支援関係(視覚・車椅子)移動従事者養成講座
- 心理カウンセラー
- ファイナンシャルプランナー
- 福祉住環境コーディネーター
- 管理栄養士
- レクレーション、音レク、作業レク指導員

(7)市の福祉人材確保施策に関してのご意見や希望等

- 介護職不足に絶対に今後なっていくので、もっとその問題について現場の職員などの意見も聞きながら解決策を考えてほしい
- 介護支援専門員にも処遇改善があれば給料アップに繋がるとおもうが
- 居宅介護支援事業者の人材確保や経営状況も考慮した施策を考えてもらいたい
- 若い世代からはどうしても他の業界に比べて華やかではなく大変と思われる。家族を養う世代からは給与の点で生計立てるのが難しい。これらのイメージを払拭できるような施策を望みます。
- どういった人材確保の方法を行っているのか？それに伴って大事な事とは？など教えていただけるとありがたいです
- 即戦力になる方(多少のブランクがあっても、経験者)の確保をお願いしたい
- この給料で人材確保をしようと考えている方が難しいのでは。男性が介護職で家族を養えないと福祉人材どころか結婚対象にもならず出生率の低下も当然だと思う。
- 人数ではなく質を重視の人材確保ができればいいと思います
- 主任ケアマネ更新研修を受けるための資格の為の研修履修証明で苦労しているので無料で受けられる研修を積極的に増やして欲しい
- 無料(もしくは低額)の研修がどんどん実施されると大変ありがたく思います
- 広く世間一般に障害者高齢者施設の実情を知ってもらう様々な機会をもっと増やせたらいいと思います
- 長期雇用のために職員のメンタルヘルスのさらなる強化が必要
- 地域住民との交流
- 定年制度延長、経験者シルバー教育制度して雇用
- 介護業界への就職希望者と各施設とのマッチングをお願いしたいです など

3. クロス集計

(1)今の仕事を薦めたい人×男女別×その人が感じている仕事の魅力

	男性		女性	
1. 強く薦めたい+2. 薦めたい	17人	24.3%	31人	27.9%

